

2024年度 貸与奨学生のしおり【授業料後払い制度】 (ダイジェスト版)

この冊子（ダイジェスト版）では、【授業料後払い制度】の奨学生として採用された後に必要な手続きや返還誓約書の書き方等について特化して説明しています。

より詳細な内容については、日本学生支援機構のホームページに掲載されている「2024年度貸与奨学生のしおり【授業料後払い制度】（全体版）」を確認してください。



<https://www.jasso.go.jp/shogakukin/saiyochu/siori/index.html>

はじめに

みなさんは、日本学生支援機構の授業料後払い制度の奨学生として採用されました。

授業料後払い制度は、勉学に励む意欲があり、またそれにふさわしい能力を持った学生に貸与される奨学金です。

みなさんは、その奨学金の貸与を受ける資格があると認められました。その誇りと自信を持って、勉学に励み、それぞれの描いた未来や夢に向かって、その第一歩を踏み出してください。

貸与奨学金制度

授業料後払い制度は貸与奨学金です。卒業後は必ず返還する義務があります。この奨学金制度は、先輩が返還した奨学金を後輩の奨学金として直ちに利用する仕組みとなっています。奨学生ひとりひとりが、責任を持って返還することで、奨学金制度が成り立っていることを忘れないでください。

貸与奨学生としての心構え

（貸与奨学生のしおり【授業料後払い制度】（全体版）4ページ）

1. 奨学金制度について、十分に理解してください。
2. 貸与中の手続きは、学校の指示を守り、期間内に行ってください。
3. 奨学生としての自覚と責任を持って勉学に励んでください。

注意事項

（貸与奨学生のしおり【授業料後払い制度】（全体版）5ページ）

■提出期限までに必要な手続きを行う

学校が期限を定めて書類の提出や入力等の手続きを求めることがあります。

特に「返還誓約書（兼個人信用情報の取扱いに関する同意書）」（以下、「返還誓約書」といいます）は、必ず期限までに必要書類を添付のうえ提出してください。期限までに提出がない場合は、貸与奨学生としての採用が取消になり、振り込まれた奨学金を直ちに全額返金しなくてはなりません。

■借り過ぎに注意

奨学生として採用された後、「返還誓約書」で借用金額等を確認してください。

また、生活費奨学金に併せて第二種奨学金の貸与を受ける場合は、家庭の経済状況や卒業後の返還額を十分に考慮し、適切な貸与月額に見直してください。

「貸与奨学生のしおり【授業料後払い制度】(全体版)」から特に重要な項目をピックアップしています。ページ数はホームページ掲載の「貸与奨学生のしおり【授業料後払い制度】(全体版)」と対応しています。

各時期に受け取る書類等と提出する書類等

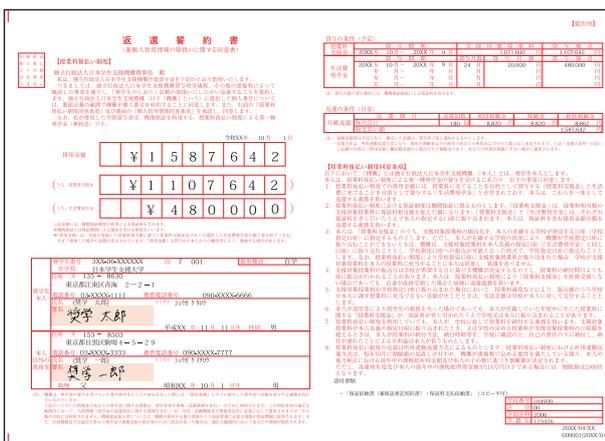
実施時期	受け取る書類等	提出する書類等
奨学生として採用されたとき	「奨学生証」(10、11ページ)	「返還誓約書」と添付書類(12～23、38ページ)
毎年1回(12月～2月頃)	「貸与額通知」(36ページ) ※スカラネット・パーソナルで確認	「奨学金継続願」(37ページ) ※スカラネット・パーソナルから入力
借り終わるとき	「貸与奨学金返還確認票」(47ページ)	「口座振替(リレー口座)加入申込書」(47ページ) ※原則、スカラネット・パーソナルから入力

奨学生証(10、11ページ)



あなたが本機構の奨学生であることを証明するものです。印字されている項目を自身で確認の上、大切に保管してください。

返還誓約書(12～23ページ)



「日本学生支援機構から奨学金を借り、卒業後は約束どおり返還します」という契約書です。印字されている内容を確認の上、学校が定めた期限までに必ず提出してください。

※本冊子4ページに記入例等を掲載していますので参考にしてください。
※返還誓約書に添付する書類は「貸与奨学生のしおり【授業料後払い制度】(全体版)」14ページを参考にしてください。

スカラネット・パーソナル(58、59ページ)

スカラネット・パーソナルでは、あなたの奨学金に関する情報(奨学金の金額・借りる期間・振込口座等)を確認したり、様々な手続きをしたりすることができます。「貸与額通知」の確認や「奨学金継続願」の入力も、スカラネット・パーソナルから行います。



<https://scholar-ps.sas.jasso.go.jp/mypage/>

奨学金の申込みから受取りまで (25、26ページ)

授業料後払い制度は、授業料に対する「授業料支援金」と生活費に充てる「生活費奨学金」の2つで構成されています。

授業料支援金と生活費奨学金は、それぞれ保証料を差し引いたうえで振り込まれます。

授業料支援金は学校もしくはあなた名義の普通預金(貯金)口座に、学校が指定した月に振り込まれます。振込先は学校が指定します。奨学生証をご確認ください。

なお、授業料支援金の額は、学校の定める授業料の額により変動することがあります。

生活費奨学金は、毎月あなた名義の普通預金(貯金)口座に振り込まれます。

※生活費奨学金は原則毎月11日に振り込まれます。例外として4月21日、5月16日、振込日が土日祝日の場合は前営業日に振り込まれます。

振り込まれる金額

授業料支援金：奨学生証の「授業料支援金」(予定総額)のうち、学校が授業料相当額として指定した額(授業料の納付方法については、学校からの指示に従ってください)。

生活費奨学金：奨学生証の「生活費奨学金(月額)」－「保証料*」

これらの金額は「スカラネット・パーソナル」で確認できます。

*授業料後払い制度での保証制度は「機関保証」となります。

奨学金を借りている間の各種変更手続き

■生活費奨学金の金額の変更(増額・減額)(28ページ)

※一時的な増額・減額はできません。

■あなたやあなたの奨学金借入れに関する人の登録情報(氏名・住所・振込口座など)の変更(26、31ページ)

■奨学金を途中で辞退する場合や、休学・退学などの学籍上の身分変更がある(あった)場合(32～35ページ)

奨学金継続の手続き(毎年12月～2月頃)(37ページ)

「奨学金継続願」(あなたの1年間の収入・支出も報告)をスカラネット・パーソナルから入力

➡学校による成績などの審査 ➡ 次の年度の奨学金を受け取れるかが決定

※学業成績が不振などの場合は、次の年度の奨学金を受け取れなくなることがあります。

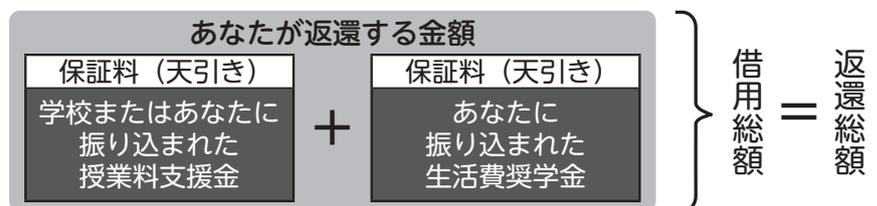
奨学金の返還について(49、50ページ)

返還金は、奨学金を借り終わるときにあなたが登録した口座(振替用口座(リレー口座))から、毎月引き落とされます。

授業料後払い制度の返還は「所得連動返還方式」により行います。

「所得連動返還方式」は、卒業後の所得に基づき毎年の返還額が決まるので、所得が少ない時期も、無理なく返還できる制度です。

授業料後払い制度において授業料支援金と生活費奨学金はまとめて1つの奨学金として返還します。



返還が困難になった場合(51、52ページ)

■返還期限を先送りにする(返還期限猶予)

■在学中の返還を先送りにする(在学猶予)

※救済制度を利用した場合も、返還総額は変わりません。

返還が困難になった場合は、救済制度の利用を検討してください!

※適用基準あり

返還誓約書の記入例 各自が署名してください。押印は不要です。

①【奨学金の種類】

あなたが貸与を受ける奨学金の種類が記載されています。

- ・貸与種別
授業料後払い制度：無利子
- ・保証区分
機関保証：保証機関の連帯保証を受ける制度

③【借用金額】

借用金額は、学校の登録した授業料相当額に基づく授業料支援金と、申込時の本人が選択した生活費奨学金の月額を予定の貸与終期まで貸与を受ける場合の金額を合計した借用総額が表示されています。

※貸与中の本人からの願出等により、借用金額が増減する場合があります。変動が生じた場合は、実際に貸与された奨学金の総額について返還義務を負います。

⑤【奨学生本人の署名】

住民票の表記のとおりに署名してください。旧字体が表記される場合は、旧字体のまま署名してください。外国籍の方でアルファベットで表記される方はアルファベットで、アルファベットと漢字が併記される場合はアルファベットが漢字のどちらかで署名してください。

⑥【奨学生本人の住所】

住民票の表記のとおりに署名してください。旧字体が表記される場合は、旧字体のまま署名してください。外国籍の方でアルファベットで表記される方はアルファベットで、アルファベットと漢字が併記される場合はアルファベットが漢字のどちらかで署名してください。

②【誓約日】

スカラネットで入力した誓約日です。

返還誓約書
(兼個人信用情報の取扱いに関する同意書)

貸与の条件(予定)

授業料支援金	貸与期間	返済回数	初回返済金	返済金	貸与総額
20XX年10月～20XX年9月	1071,600円	24	8,820円	8,820円	1,107,642円

返還の条件(目安)

月賦返済	返済期日	返済回数	初回返済金	返済金	最終返済金
毎月27日	180回	8,820円	8,820円	8,862円	1,587,642円

④【奨学生本人の住所】

住所は現在住んでいる住所です。ただし、添付書類欄に「住民票」と印字されている場合は、住民票に記載された住所です。

⑦【続柄】

「その他()」と印字されている場合は()の中にあなたの具体的な続柄を記入してください。

⑧【本人以外の連絡先の署名】

本人以外の連絡先に選定された人物が署名してください。

⑨【添付書類】

必要な添付書類が印字されています。添付漏れがないようによく確認してください。

- ・保証依頼書(兼保証委託契約書)・保証料支払依頼書(機構・協会用)(コピー不可)
- ⇒記入方法については本冊子の『保証依頼書の記入例』(4ページ)を参照してください。
- ・市区町村で発行された奨学生本人の「住民票」(コピー不可、マイナンバーの記載のないもの)
- ⇒提出が必要なのはみ印字されています。

⑩【記入上の注意】

- ・黒又は青のボールペンを使って各自が署名・記入してください。(消せるボールペンの使用は不可)
- ・記入を誤った場合の訂正方法は2024年度貸与奨学生のしおり【授業料後払い制度】(全体版)20、21ページを参照してください。

保証依頼書の記入例 (全員提出のうえ返還誓約書への添付が必要です。)

【署名・記入】
保証依頼書(兼保証委託契約書)・保証料支払依頼書(一枚目)には、あなたの署名・記入が必要です。

①【奨学生番号】

返還誓約書の奨学生番号を記入してください。

②【本人欄(2か所)】

あなた(奨学生本人)が署名・記入してください。

③【本人現住所欄(2か所)】

あなたが現在住んでいる住所を記入してください。

【成年者用】

① 保証依頼書(兼保証委託契約書)

申込日 令和×年10月1日
(保証依頼書に印字された日付を記入)

私は、独立行政法人日本学生支援機構(以下「機構」という。)の奨学金の貸与を申し込むにあたり、個人信用情報に関するインターネットによる貸与申込の本人同意書(以下「同意書」という。)の記載内容並びに保証書の記載内容により申込済みの奨学金の貸与(申込)について保証することを承諾し、保証料を支払うことと同意する。以下「保証料」とする。公団保証日本国際教育支援協会(以下「協会」という。)に委託する。

また、本校の記載事項が虚偽の内容によるものであった場合、機関保証への参加が加えられたとしても異議はありません。

【同意事項】

- ・奨学金は、本人が自分の責任により申込みを行い、毎月の返済は、自己負担額を要している。
- ・奨学金は責任を持って返済する必要がある(保証料を支払うことと同意)が免除されることはない。
- ・奨学金の返還が困難な場合、返済制度(強制返済、滞り返済制度)がある。
- ・奨学金の返還が一定期間滞り続くと、私の代わりに協会が債権者に代わって返済する(これを代位弁済という。)が、その場合は協会に申しその分を返済しなければならない。
- ・代位弁済が行われるとその情報が個人信用情報機関に登録され、延滞情報が登録された場合と同等にクレジットカードや住宅ローン等の利用に、より厳しい規制を受けることがある。

② 保証料支払依頼書

独立行政法人 日本学生支援機構理事長 殿
公団保証 日本国際教育支援協会理事長 殿

上記保証依頼書に基づいて、私が公団保証日本国際教育支援協会に支払うべき保証料について、奨学金の交付の際に貸与金額から独立行政法人日本学生支援機構から引かれ差し引いて支払うこととしてください。

大 氏 名 (姓・名・フリガナ) 奨学太郎

(注) この保証依頼書及び保証料支払依頼書については、返還誓約書と同時に学校に提出してください。

本書にご記入いただいた情報及びあなたの奨学金に関する情報は、公団保証日本国際教育支援協会(以下「協会」という。)が行う奨学金の貸与申込日本学生支援機構(以下「機構」という。)が行う奨学金の貸与申込(保証書を含む。)のために利用されます。この利用目的の適正な範囲内において、当該情報(奨学金の返還状況に関する情報を含む。)が、学校、金融機関及び業種関係者に必要に応じて提供されますが、その他の目的には利用されません。

機構が保有する個人情報のうち保証管理に必要な情報が協会に提供されます。

(学校使用欄)

学校番号 区分
1049000000

(機構・協会用) (2023.04)

※ 様式は作成日時時点のものです。

④【日付】

申込日、依頼日の両方とも、返還誓約書に印字された日付(スカラネットで入力した誓約日)を記入してください。

上段「申込日」 } あなたが記入してください。

中段「依頼日」 }

※日付の訂正が必要な場合

上段「申込日」 } 訂正部分を二重線で削除して

中段「依頼日」 } ください。

【訂正例】

申込日 令和 ×年 10月 1日
(返還誓約書に印字された日付を記入)

依頼日 令和 ×年 11月 9日
(返還誓約書に印字された日付を記入)